

レポート2007 Vol.1

昨年12月9日(土)に中野立教会クリスマス会を開催いたしました。
 今回は、ここ数年大学内で行われていた地域合同クリスマス会とは志向をかえて、
 中野立教会単独でクリスマス会をおこなう事にしました。会場は中野通り沿いの
 新井にある地元のイタリアンレストラン『ジョパニ』にて貸切でおこないました。
 参加者も30名以上と例年を上回り、出来たてのイタリア料理を満喫しながら、
 全員おそろいのサンタ帽をかぶり(写真を見て下さい)、橋場副幹事長のギターに
 合わせクリスマスソングを熱唱、またクリスマスプレゼント抽選会も熱中しました。
 初めてご参加頂いた方から「楽しかった、良かった」と喜びのお言葉を頂戴しました。
 2次会も盛大に盛り上がりこの日の中野の夜はクリスマス色一色に染まりました。

06院卒 武田



ご存知でしたか？



「立教の映画人」

以前の立教大学には、映画学科も映像研究科もありませんでしたが、
 現代の日本映画界をリードする映画監督を数多く輩出しています。
 周防正行、青山真治、黒澤清・・・彼らの多彩な活動の原点として
 挙げられるのが、かつて本学で開講されていた蓮實重彦教授の『映画表現論』。
 映画評論家としても知られる蓮實先生は、1968年から10年以上にわたり本学の
 教壇に立たれていました。以下に当時のシラバスの抜粋をご紹介します。

<世界の映画・日本の映画>

国籍や製作年度、ジャンル等にとらわれずあらゆる種類の映画を現在の
 体験としてとらえながら、「フィルム体験」とは何かを考える。教室で
 指定する作品を必ず見ること、そして1年に最低百本の映画を見る潜在的
 可能性を自覚すること、それがこの授業に出席しえる条件である。

(1982年度の一般教育課程履修要項より)

当時出席していた方々は、異口同音に「教室にはいつも学生が溢れかえる
 ほどであった」とおっしゃいます。本学から錚々たる映画人を輩出した背景
 には、蓮實先生の貴重な講義があったと言えます。

2006年4月、武蔵野新座キャンパスに現代心理学部・映像身体学科が開設
 されました。未来に語り継がれる作品を生み出す映画人、クリエイター
 のさらなる誕生を期待しましょう。

お願い

使用済みプリペイドカード お持ちください！

現在 ホワイトリボン運動(母と子の健康といのちを守る運動)
 インドネシア・スマトラ島沖大地震・津波復旧支援活動 に役立っています。



【ご案内】平成18年度会費¥3,000/年納入の皆様ありがとうございました、お礼もうしあげます。
 平成18年3月末現在、中野立教会は、男性156名、女性75名の会員総数231名で構成されております。
 初めての方、過去入会していたが今は参加していない方、ぜひ一度、参加してみてください。
 ご質問など、ご連絡は、渉外係 三木原 090-7170-0593 nobuo.mikihara@jcom.home.ne.jpをお願いします。